

議会議案第10号

山ノ内交番の統合（廃止）の計画見直しを求めることに関する意見書の提出について

山ノ内交番の統合（廃止）の計画見直しを求めることに関し、次のとおり意見書を提出する。

令和4年（2022年）3月2日提出

提出者 鎌倉市議会市民環境常任委員長

児 玉 文 彦

山ノ内交番の統合（廃止）の計画見直しを求めることに関する意見書

令和3年（2021年）10月に、大船警察署から地域住民に対し、J R 北鎌倉駅前に所在する山ノ内交番を令和5年（2023年）3月に廃止し、最寄りの台交番に統合する旨が伝えられた。

山ノ内交番は、閑静な住宅街のほか、商店、保育園、幼稚園、小・中学校、高等学校などに近接しており、近隣住民はもちろんのこと、通園する園児、通学する子供・学生、その保護者などにとって、安全・安心の要となっている。

またJ R 北鎌倉駅は、周辺に立地する寺社などを目的とした観光客が多く来訪する、観光都市・鎌倉の玄関口ともいえるべき場所であり、昼間人口の多さから、山ノ内交番は道案内や拾得物の預け先としての役割はもとより、トラブルの際の駆け込み先としての役割が非常に大きいといえる。

統合先とされている台交番と山ノ内交番とは約2キロメートルもの距離があり、山ノ内交番が廃止された場合には、周辺地域に対して山ノ内交番が果たしていた犯罪抑止の効果が失われることが危惧される。有事の際の駆け込み先を失った近隣住民や、近隣の学校等に通う子供や保護者の不安は想像に難くない。

令和3年（2021年）12月以降行われている地域住民を対象とした説明会においても、山ノ内交番の統合（廃止）に反対する声や不安の声が多く上がっている。

地域の安全対策に、市、住民、警察との連携がより一層求められている昨今、高齢化率の高い本市における交番の果たす役割は非常に重要であるといえる。

よって、神奈川県及び神奈川県警察においては、神奈川県警察交番等整備基本計画における山ノ内交番の統合（廃止）を見直し、地域住民の声を聴きながら、存続を望む地域住民の安全・安心に資するよう、最大限の方策を検討し、その実現に努めることを求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年（2022年）3月4日

鎌倉市議会